

市民活動団体の意識・実態調査報告書

平成21年2月

福生市生活環境部

はじめに

少子・高齢化や地方分権の推進など、私たちを取り巻く社会情勢が大きく変化する中、市民ニーズはますます複雑かつ多様化し、さまざまな地域課題が発生しています。

近年、福祉や環境、まちづくりなどの幅広い分野で、地域の課題を解決していこうとする市民活動団体が活躍しており、その専門性や先駆性などを活かし行政や企業と協働することによって、地域の公共サービスの担い手として欠かせない存在となっています。

福生市では、協働の推進を図るため、平成16年度に市民活動団体との協働に関する指針を策定しました。また、市民活動を支援することを目的に、平成17年度に市民活動災害補償保険制度を導入し、輝き市民サポートセンターを開設しました。さらに、市民活動促進補助金制度の制定、市政出前講座の実施等の環境整備を行っています。

このような状況を踏まえ、平成15年度に実施した「市民活動団体の実態と協働に関する意識調査」から5年を経て、福生市内で活動している市民活動団体の活動や運営状況の実態、また協働に関する意識が前回調査からどのように変化したかを把握するため、本調査を実施いたしました。

本調査の実施にあたっては、各課に配置された「協働事業推進員」が携わり、アンケート項目の検討を行いました。前回調査と同様の項目に加え、輝き市民サポートセンターに関することや団体が抱える課題についての設問を増やしています。調査結果につきましては、市民活動の促進や協働の推進を進めていく上での基礎資料として有効に活用させていただきます。

最後に、本調査にご協力いただきました多くの市民活動団体の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成21年2月
福生市生活環境部

目次

第一 調査の実施概要	1
1 調査の目的	1
2 調査項目	1
3 調査方法	1
4 回収結果	2
5 集計にあたって	2
6 調査対象の属性	3
第二 調査結果の概要	4
第三 調査結果の分析	13
1 団体の活動状況	13
(1) 活動地域	13
(2) 活動拠点	15
(3) 活動分野	17
(4) 特に力を入れている活動分野	21
2 組織体制	24
(1) 役員構成	24
(2) 会員構成	25
(3) スタッフの構成	30
(4) 規則・会則・定款の有無	33
3 財政状況について	35
(1) 財政規模（年間の支出）	35
(2) 支出内訳	37
(3) 収入内訳	39
4 行政との協働についての考え	41
(1) 団体と市との関係	41
(2) 市との協働の有無	45
(3) 協働を望む事業・事業形態	51
(4) 協働を進める上で市に望むこと	55
(5) 協働を希望する部署	57
(6) 協働のメリット、デメリット、課題	60
(7) 市に望むこと（支援策）	67
5 輝き市民サポートセンターについて	70
(1) 輝き市民サポートセンターの機能	70
(2) 輝き市民サポートセンターの利用頻度	72
6 他団体・企業との関係	73
(1) 他団体との交流	73
(2) 企業との関係	75

7	情報の収集・発信について	78
	(1) 情報の収集	78
	(2) 情報の発信	80
	(3) ホームページの開設	82
8	活動する上での課題	85
	(1) 会員・活動メンバーに関する課題	85
	(2) 活動に関する課題	87
	(3) 情報に関する課題	89
9	自由意見	91
	調査票	99